



新しい年を迎えて早一ヶ月、  
皆様今年もどうぞ宜しくお願い致します。  
昨年末からの豪雪はいろいろな地方に被害を  
もたっていますが、雪の降らない所でも、  
寒さはまだまだ厳しいようですね。  
皆様の所はいかがでしょう。  
そんな冬の季語にも美しい日本を表したものが沢山あります。  
今回はTomy jr.さんにも投句をいただき、賑やかになりました。

まず、うさおさんの句から拝見しましょう。

### 銀杏のこぼれおつるや野毛の坂

良い句になりましたね。

中七を自然にこぼれおちたるとした方がリズムがより良くなるのでは・・・？

\*銀杏のごぼれおちたる野毛の坂

### 紅色の煉瓦に添えてコムラサキ

「こむらさき」は紫式部の事ですよ、蝶にもコムラサキという種類がありますが、この場合は実むらさきの事だと思います。

\*煉瓦塀に寄り添ふごとく実むらさき

### 萩の群れいずこの人が住みにしか

いずこの人というのも良いのですが、もうひとつ踏みこんであの人がすんでいるのだろうか・・・としてみるとより具体的になると思います。少し句意が変わるかもわかりませんが・・・

\*かのひとの住みしか萩の花零る

### 銀杏の落つる葉音に歩を合わせ

銀杏の実の落ちる音なのか、葉の音なのかをはっきりさせると情景がより良くなるかびます。落つる・・・とされるのなら、文語体で合わすは合はすになります。

\*銀杏の実落つる音に歩を合はす

### 野毛山の私邸から見る濱の秋

うさおさんのお宅は野毛山？すごい～！動物園がありますよね。近くですか？

十七文字の抒情詩



ただ、私邸というのが少し気になります。書齋・・・くらいの方が良いのではと思います。 \*野毛山の書齋より見る濱の秋

続いて Tomy jr.さんの句です。

### マフラーを着けし背後の jazz 流る

ジャズのライブに行かれたのですね、終わった後の余韻を感じさせてくれる句です。お上手ですね。着けるというのを取っても伝わるので取ってすっきりさせましょう。 \*マフラーの背後より jazz 流れ来る

### 生牡蠣にライブの興奮よみがえり

興奮醒めやらない時は思い切って生牡蠣ではなくて牡蠣鍋などにされた方が、ぴったりくるように思うのですが・・・レストランでは鍋はないですね。

\*牡蠣鍋にライブの熱気よみがえる

### 寒月や話す家路にあたたまり

ライブの事を語り合いながら歩いていると自然に身体も暖かくなってきたのです。すべてを言おうとするとなかなか難しいですね。あたたまり・・・は読む人に感じて頂きましょう。 \*語り合ふ友との帰路や月冴ゆる

### 靴音にジャズの余韻や冬月夜

とても良い句ですね。ジャズの余韻と冬の月・・・取り合わせも良いと思います。上五の字余りは良いので、靴音にも・・・とされた方が句が広がります。

\*靴音にもジャズの余韻や冬月夜

最後は健さんの句です。

### ぼっかりと空き地の記憶雪催い

胸の中にぼっかりと空いた記憶があるのですね。一読では少しわかりにくいかな。

\*ぼつかりと空きし記憶や雪催ひ \*ひとところ空地の記憶雪催ひ

### 寒波来る丹沢山塊青々と

良いですね～寒波という季語と丹沢山塊が良い・・・しかも山は青々としている。力強さも感じます。

### 工房の革の匂ひや日脚伸ぶ



皮革工房なのでしょうか？少しずつ日の出ている時間が長くなっている、革の匂いとの兼ね合いも良いです。普通だと工房の・・・が匂に広がりが出て良いのですが、革の匂いなので、あえて工房にとすると特別なその匂いが引き立ちます。

\*工房に革の匂ひや日脚伸ぶ

### 三問の仁王の見得や春立つ日

確かに仁王様は見得を切っているようです。季語の力で仁王の見得もふっと力が抜けそうです。

### 春兆すエスプレッソの泡細か

春もそこまで・・・それをエスプレッソの泡に感じる・・・なかなかやりますね～私なら \*春兆す泡なめらかにカプチーノ とする所ですが、あえてエスプレッソにするとまだ春になりきれしていない厳しさも少し感じますよね。



うさおさん、ずいぶん腕が上がっています。この調子で沢山句を作って下さいね。

Tomy jr.さん、感性の良さを感じます。

次回も投句お待ちしております。

健さん、相変わらず良い句が生まれているではありませんか。不作ではないですよ～

一人でも増えると十七文字も賑やかになってたのしい句会のようになりますね。

特別な事がなくても少し見方を変えるだけで、日常が句になります。

皆さんもぜひ参加して下さいね。

うすももの岩田帯買ふ春隣

老猫の爪磨ぐ音や寒灯 ゆうこ

